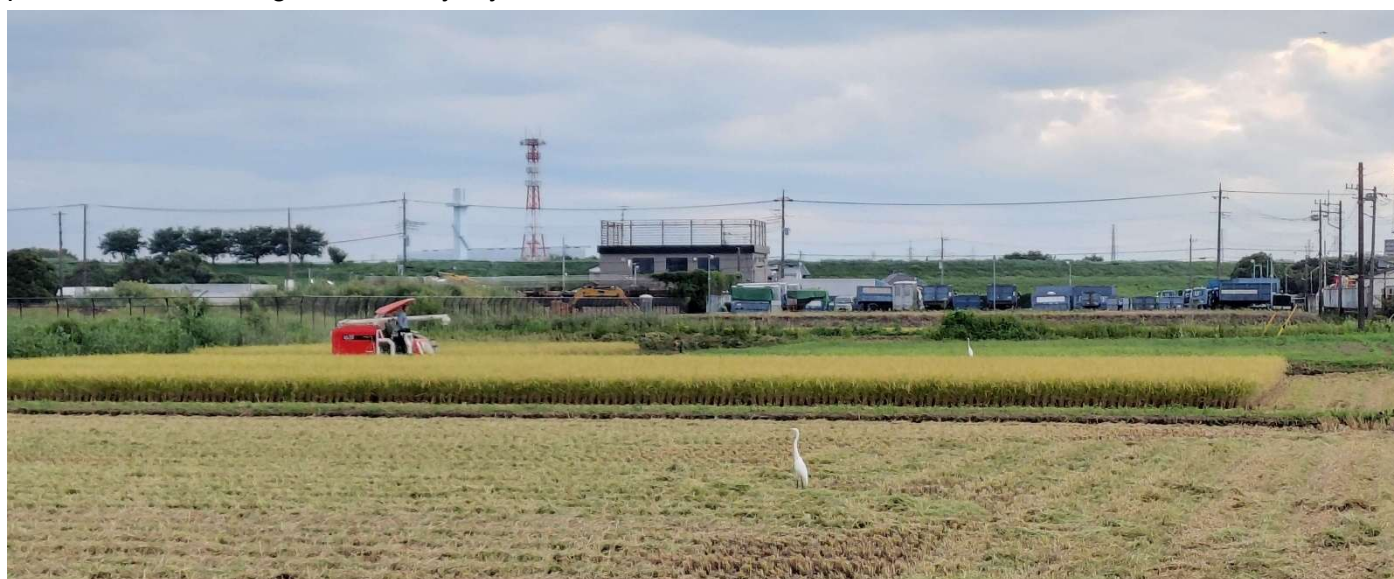


Photo Letter

嶋田彰夫

「局地的大雨」は全国其処彼処で秋雨前線・線状降水帯になって、深刻な被害をもたらしています。
It is indeed uncomfortable that “many sudden heavy rain showers over the land” have been disturbing the peaceful reaping work time. They made the hours of sunlight shorter in the field, and have hiked the retail prices of fruit and vegetable, everyday meals.



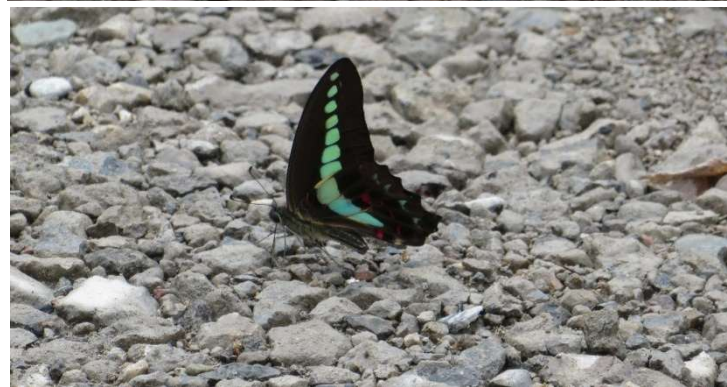
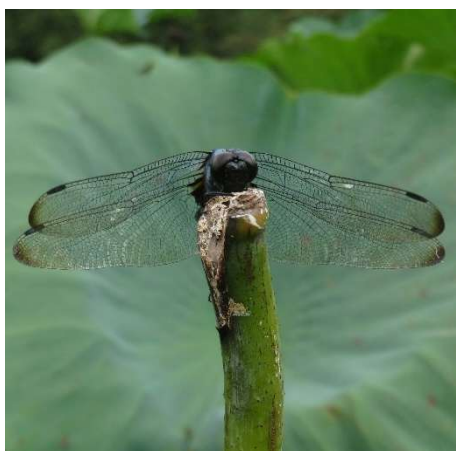
Looking for autumn scenes in the park and river banks.



オミナエシ↓ キキョウー (秋の七草から)



● 21 世紀の森と広場の生きものたち(9 月初旬)



●江戸川土手(松戸)から利根運河(流山・野田)

相変わらず雨雨雨。東の間の雨上がり(9月12日)を自転車で東京理科大学野田キャンパスへ。

土手から見下ろすと、河川敷の運動場には雨水が溜まっていてサギ(オオサギ)の休息池になっています。

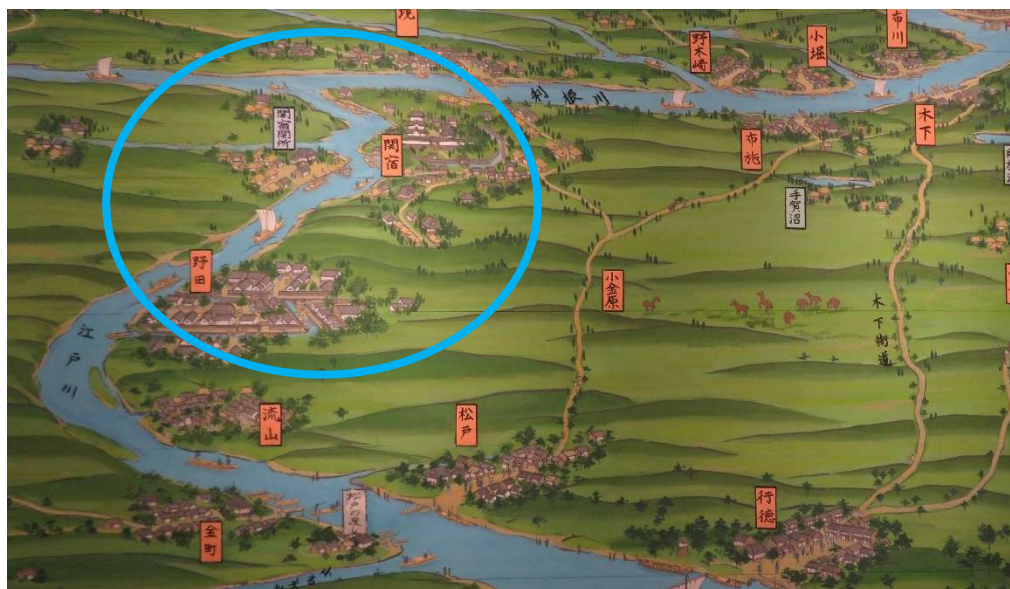
Masses of mushroom have grown under the long lasting wet weather.



●利根運河のヒガンバナ(彼岸花、曼珠沙華)



● 野田の関宿城博物館 (9月18日) Strolling around Noda City, Chiba
 チーバくんの丁度「鼻先辺り」が野田市です。関宿城博物館は文字通り「鼻の最先端」にあります。東側は茨城県で利根川本流が、西側は埼玉県で江戸川です。



関宿城博物館は今から30年ほど前に建設されて、お城を一部復元しているそうです。天守閣から利根川と江戸川の分水点を確認できます。

↓ 江戸川土手から北側の関宿城博物館を望む



●野田の「しょうぎ」と「しょうゆ」 Noda's SHOUGI and SHOUYU
野田市の名所旧跡を一日であちこち巡りました。

「鈴木貫太郎記念館」で、二・二六事件や第二次大戦史の一端を。

「関宿城博物館」は治水工事など特に江戸時代からの地域史。

「関根名人記念館」は十三世名人関根金次郎さんはじめ将棋の歴史。(しょうぎ) Shougi=Japanese Chess

野田市駅(東武鉄道)に降り立つと醤油醸造の香りがします。(しょうゆ)

Visit the factory of Soy Sauce
工場見学をして、市内の郷土博物館も見学しました。



(しょうゆ) Shouyu = Soy Sauce

大豆・小麦・食塩水と麹菌などで作る発酵食品です。「魚醤(ぎょしょう)」に対して日本独自に発達した「穀醤」(こくしょう)というそうです。

「江戸時代初めには、江戸という大消費地に近い野田や銚子で、本格的なしょうゆの生産が始まりました。このあたりは気候がしょうゆづくりに向いており、原料が手に入りやすく、さらに利根川や江戸川の舟運の便がよかったからです。」
(キッコーマンのしょうゆ工場案内より抜粋)

10月1日は「醤油(しょうゆ)の日」だそうです。原料となる大豆や小麦の収穫期で新しい醤油の仕込みの時期に合わせて「日本醤油協会」などが制定しました。

「トリスおじさん Uncle Tors」が良い気分で歩いている絵が、トリスウィスキーのおまけのグラスに描かれています。昨今の大雨被害のニュースをみていると、グラスの中の液体と重なって、おじさんが冠水した道を雨傘の先で安全を確認しながら歩いているようにも見えてしまいました。

